

令和 6 年度第 1 回全国健康保険協会徳島支部評議会議事録

○日時：令和 6 年 7 月 22 日（月）14 時 00 分～16 時 00 分

○場所：全国健康保険協会 5 階会議室

○出席評議員（五十音順 敬称略）

井内学	一般社団法人徳島新聞社論説委員
上田輝明	徳島県商工会議所連合会専務理事
牛田聡史	日亜化学工業株式会社総合部門管理本部給与厚生センター長
北島一人	徳島県商工会壮青年部部長
孝志茜	さくら税理士法人公認会計士
中内美香	徳島県国民健康保険団体連合会保険者支援課 課長
平井松午	徳島大学名誉教授
布川徹	徳島県中小企業団体中央会会長
古谷京一	徳島文理大学総合政策学部教授

○議事次第

- 1 令和 5 年度全国健康保険協会の決算見込み（医療分）について
- 2 令和 5 年度徳島支部事業実施結果および令和 6 年度の事業展開について
- 3 保険者努力重点支援プロジェクトについて
- 4 マイナ保険証について

○議事内容要旨

1. 令和 5 年度全国健康保険協会の決算見込み（医療分）について
事務局より資料 1-1～1-6 に基づき説明し、ご意見をいただいた。
2. 令和 5 年度徳島支部事業実施結果および令和 6 年度の事業展開について
事務局より資料 2-1 及び 2-2 に基づき説明し、ご意見をいただいた。
3. 保険者努力重点支援プロジェクトについて
事務局より資料 3 に基づき説明し、ご意見をいただいた。
4. マイナ保険証について
事務局より資料 4 に基づき説明し、ご意見をいただいた。

（主な議論の概要）

1. 令和 5 年度全国健康保険協会の決算見込み（医療分）について
事務局より資料 1-1～1-6 に基づき説明し、ご意見をいただいた。

【主な意見】

《事業主代表》

加入者一人当たり医療費の対前年同期比について、徳島は全国ワースト 3 位である。四国内であ

れば高知、愛媛も対前年度医療費が伸びる中、香川のみ医療費の伸び率が低い。また、医療費を疾病分類別に対前年度比を見ると、香川は新生物を起因とする疾病がほとんどないが、なぜか。

《事務局》

確認のうえ、次回評議会で改めて説明します。

《学識経験者》

保険料収入が増加し、準備金も潤沢にある中、国庫補助金も一兆円と多額にある。この黒字収支が国庫補助にマイナスの影響をもたらすことはないのか。

《事務局》

単年度収支のみで判断すると、一見採算が取れているように見えますが、今までご説明してきたように、近い将来、赤字に転ずることは、毎年度お示ししている財政収支見通しではっきりしているところです。単年度収支が黒字であっても、依然として協会けんぽの財政は楽観を許さない状況であると考えています。

仮に準備金残高が多額にあるからと保険料率を引き下げた場合、保険料収入を少なくできるような財政的余裕があると国（財政当局）に解釈され、補助減額の議論となる可能性もあると考えています。

2. 令和5年度徳島支部事業実施結果および令和6年度の事業展開について

事務局より資料2-1および資料2-2に基づき説明し、ご意見をいただいた。

3. 保険者努力重点支援プロジェクトについて

事務局より資料3に基づき説明し、ご意見をいただいた。

【主な意見】

《学識経験者》

保険者努力重点支援プロジェクト「上手な医療のかかり方」について、効果の有無を測定する指標はどういったものを想定しているのか。

《事務局》

時間外診療による医療費の動向で事業効果を見ることができると考えていますが、その他の手法でも効果検証をしていきたいと思います。また、時間外診療は加入者の経済的負担が増えることを加入者の皆様に理解していただき、加入者の意識・行動変容に寄与することも目的としています。そのため、本事業では、時間外受診抑制のほか、はしご受診の抑制、ジェネリック医薬品の使用率向上など、医療費抑制のための取り組みをトータルで紹介する予定としています。

《被保険者代表》

0歳から4歳の時間外受診が多いとのことであるが、乳幼児は医療費の窓口負担がないので、割増料金がかかるなどの出費を強調するようなアプローチは効果的ではないと思う。

ジェネリック医薬品についても同様の理由から、金額の多寡により乳幼児の医薬品を選択するとは考えづらい。先発医薬品との飲みやすさの違いや安全性などを強調した広報をしてはどうか。

また、当事者意識を芽生えさせることが、行動変容に繋がると考えるので、乳幼児の高額な医療費が結果として保険料率の上昇につながっていることを理解してもらう必要性を感じる。

《事務局》

いただいたご意見の通り、本事業を展開する際には、医療財政への影響、ひいては、自身の健康保険料率上昇の抑制にも寄与することなども含めて、広報など工夫していきたいと思います。また、ジェネリック医薬品であれば、価格以外にも飲みやすさなどを強調し、広報を実施していきます。

4. マイナ保険証について

事務局より資料4に基づき説明し、ご意見をいただいた。

【主な意見】

《学識経験者》

現行の保険証とマイナ保険証との併用はできないのか。世論調査でも多くの方がマイナ保険証移行に対し不安感を持っていると報道がある中、無理な移行は混乱を招くだけではないか。

《事務局》

世論は十分認識していますが、マイナ保険証を利用するメリットを鑑み、保険者として推進することが必要と考えています。

また、「マイナ保険証」を主としながらも、「資格確認書」や「資格情報のお知らせ」等の受診方法もお知らせしていきます。保険者として、加入者に不利益を与えないことが重要と考えています。

《被保険者代表》

マイナ保険証は、現行保険証に比べセキュリティ面からも信頼でき、安全性が高い仕組みであることを広報すべきではないか。また、マイナカードから情報漏洩しないのかという不安が社内から聞かれることも多い。さらに丁寧な説明が必要と感じる。

《事務局》

いただいたご意見の通り、マイナ保険証利用についての周知を進めており、セキュリティなどを前面に押し出した広報は十分ではないと考えます。マイナカードからすべてのデータが引き抜かれることはないといったことや紙やプラスチックに比べ、なりすましが困難といった観点からも安全性を周知していくことも進めていくようにします。

《事業主代表》

本人以外が保険証を使えることで、保険証の悪用が頻発している現状を鑑みれば、デジタル化は必要であると思う。

《事業主代表》

以前、マイナンバーと被保険者情報に紐づけミスがあった事例から不信感がいまだ大きいのではないかと。

《事務局》

デジタル時代の到来に伴い、協会けんぽも各システムにおけるデジタル化の推進は必要と考えています。マイナ保険証の安全性など推進につながる広報をさらに進めていきたいと考えています。

《学識経験者》

保険者の立場として、マイナ保険証の導入によるメリットはあるのか。

《事務局》

保険証発行にかかる費用削減の効果、限度額適用認定証等が発行不要となることで現場の負担が大幅に減ること、返納金発生抑制等の様々なメリットがあると考えています。また、複数の医療機関にかかっている患者に対し、同じような医療や投薬が不要となるので、医療費の適正化効果も期待されます。

《事業主代表》

保険者努力支援プロジェクトについて、徳島の健康保険料率が全国的にも高いということを徳島県民に認識させ、県民が一つとなり取り組みを行うことで健康保険料率が下がるというストーリーをより押し出してはどうか。給与から健康保険料の出費を減らすといった観点からの経済的なアプローチも有効かと思う。

《事務局》

保険者努力支援プロジェクトは、最終的には健康保険料率抑制につなげることが目標と考えています。いただいたご意見を参考に広報など各種事業を進めていきます。

以上

次回評議会開催日程

- 日 程： 令和6年10月
- 場 所： 徳島支部会議室
- 議事内容予定： 未定